

白川風土記

地三

三六	架	函	號	類	和書門
			二九一		

一七四	函	二	架	三六	冊	二九一	八三	號	類	和書
(二十)										

十一



内閣文庫	
番號	和 29183
冊數	36 (12)
函號	174 287

地三七

内一〇〇〇〇〇〇



白川屋上... 高... 北...

兼名

白川風土記卷之十一

白川郡荻原庄 未詳名

泉田村

東...

當城... 發セル村里ト云テ詳ナラズ奥羽街道ニテ間ノ
村ナリ戸數十九軒村長廿南北二丁餘東ノ方大
和田村ハ二十五丁地堺大窪ト云所ニテ二十丁
西ノ方大谷地村ハ三十四丁地堺新小萱村込ケ
窪ト云所ニテ四丁南ノ方新小萱村ハ二十三丁
地堺ハ當村入口ナリ北ノ方高田領小田川村端
村羽賀巢内ハ二十丁地堺ハ佛石ト云所ニテ三

下餘田所ハ東ノ方ニアリハ新田ノ所ニテ三
高札場一ヶ所ハ村中ニアリ高田郡小田川村
官ヨリ令セラレテ所人掟條目ヲカシ久シク
西ノ井堰昔此所ハ三十四丁此所ハ小田川村
味田村ハ溜十五丁此所ハ大田郡小田川村
村東裏ニアリ東西九十五間南北八十八間
餘ノ村七七入溜
村ヨリ辰巳ノ方三丁餘ニアリ東西三十間南北
二十一間

秣場

佛石
村ヨリ北ノ方三丁餘山澤ニテ丁歩シレ又秣場
神社

鎮守四社

社地東北西十五間

別當照明院

熊野權現

小社十リ

二所明神

小社十リ

庭渡權現

小社十リ

八龍神

小社十リ

村ヨリ辰ノ方三丁餘ニアリ四社トモニ何レノ
時鎮座ト云テ舊記紛失シテ詳ナラズ又四社ノ雨

覆南北二間東西四間祭り八九月十五日

石鳥居 高廿八尺幅七尺

愛宕社社地村山上 別當照明院

村ノ中西側三丁山上 石階十六級上り石ノ小社

祭りハ六月二十四日

石鳥居 高廿八尺幅七尺

牛頭天王社社地四方 別當照明院

村ヨリ南ノ方一丁餘ニ下リ石階ヲ上ルハ三十

間ニシテ小社アリ祭リハ六月十五日

鳥居 高廿九尺幅五尺

稻荷社社地南北東西五 別堂照明院

村ヨリ北ノ方五十間ニ下リ小社十リ祭リハ九

月十五日

山ノ神社社地四方 別當照明院

村ヨリ東ノ方五十間ニ下リ小社十リ祭リハ九

月十五日

佛場

不動明王堂 別當照明院

村ヨリ東ノ方五丁餘ニ下リ小龕十リ不動明王

石佛立像長ケ一尺縁日九月十五日

寺院

照明院 境内東西三十三尺南北七間三尺

真言宗ニテ生水山ト云大永年中快雅ト云僧閑

基ト云傳フ舊記焼亡ニテ詳テ又高田領小田

川村寶積院ノ末寺ナリ

客殿庫裏共ニ一宇 東西五間南北三間本尊藥

師如來厨子入弘法大師ノ作秘佛ト云傳フ

人物

農夫 猶若多門 農夫 貞吉

農夫

與四郎

此西三郎ハ

能ク父母ニ孝ナル者ナリ且子弟等一家五夫婦

ニ及ヘリ力ヲ合テ農ヲ勤メ公税ニ懈ラズ家モ

亦舉フテ親睦ニシテ長幼ノ禮自ラ正スル如ク

ルト數十年一日ノコトシ人コレヲ口ニ以テ置

ス依テ賞シテ青銅十貫ヲ下シ與フ寛政十年十

二月二十二日ナリ

農夫

貞吉

極テ貧農ナリケルニ其母兼來盲人トナシテ不

自由ナリケレトモ少志ヲ用ヒ朝夕ノ孝養ヲ

コ夕ラス又家族トモニムクシク耘耔モ公令ニ
ケルユヘ粗税モ欠事ナク其孝行人猜心通シテ
隣村共ニ日ニ正稱止ニ又享和ヲ賞四所青錢若
干ヲ與實享和筭年四月廿九日具才リ高農氏小田
農夫

猶右衛門
貧農ニテ男女小兒多カリケル其上伯父ナレ
モノ病ニ罹リテ孤獨ナリケレバ已レカ居宅へ
移シテ不自由ナカラシメテ醫療モ尽シテ終焉ノ
キハニテ能ク心ヲ用ヒケル兼テ官人令スル所

ヲ守リ貢モ怠ラサリケル是ヲ賞シテ青錢若干
ヲ与モ與テ天明苑年三月二十日ナリ
免除地 下ケテ

照明院 鎮守四社

三月此地ハウツルハ故三十八軒雨洲ニ建シ
リ民家ヲ移申畑新田村ニ号其後元和六年庚申
三月此地ハウツルハ故三十八軒雨洲ニ建シ

石川郡泉庄内野郷
中畑新田村
當城ヨリ丑寅ノ方行程三里二十八丁餘ニ
慶長年中會津宰相氏郷封内按行ノニキリ此地
へ来ワテ駕ヲ停メ奥州羽刈街道駅場遠クシテ
行旅ノ煩タリ早ク此地へ一宿ヲ設ヘニト指令
ス奉行ハ老臣加藤志摩守タリ因テ赤阪今高田
久村ニトイヘル所ニ駅場ヲ達テ中畑村高田
リ民家ヲ移シ中畑新田村ト号其後元和六年庚申
三月此地へウワル戸數三十八軒西側ニ連ル村

石川郡泉庄内野郷
中畑新田村
當城ヨリ丑寅ノ方行程三里二十八丁餘ニ
慶長年中會津宰相氏郷封内按行ノニキリ此地
へ来ワテ駕ヲ停メ奥州羽刈街道駅場遠クシテ
行旅ノ煩タリ早ク此地へ一宿ヲ設ヘニト指令
ス奉行ハ老臣加藤志摩守タリ因テ赤阪今高田
久村ニトイヘル所ニ駅場ヲ達テ中畑村高田
リ民家ヲ移シ中畑新田村ト号其後元和六年庚申
三月此地へウワル戸數三十八軒西側ニ連ル村

長廿南北三丁四十間毎月十日ヨリ廿日ニテ登
リハ高田領小田川駅へ継送ル下リハ笠石駅へ
継送ル村南端東方常州ノ街道下リ高田領中
畑村川原田村両村へ出ル又村端北四十間ニ
岩城へノ街道下リ又會津へノ運送ハ高田領大
和久村ヲ經テ高田領新城村へ送ル柿ノ内村へ
モ送ル東ハ高田領須乘村へ一里地境愛宕ノ臺
ト云所へ二十八丁餘西ハ高田領大和久村へ十
一丁地境行人池ト云所へ八丁餘北ハ矢吹村へ
八丁地境ニテ四丁餘南ハ中畑村端村十軒新田

へ二十三丁下地境ハ本村ニ入合ニテ詳ナラス
田所ハ東方ニアリ
高札場一ヶ所一村中ニアリ
官ヨリ令セラルル所ノ掟條目ヲカク

井堰

釜ヶ入池

村ヨリ末申ノ方十六丁餘ニアリ方四丁

株場

一本木鳥番前後

村ヨリ東方六丁餘ニアリ廣野ニテ丁步詳ナ
ラズ

長火神社

八幡社

社地方

高田領中畑村

社人梅宮内藏

村ヨリ辰ノ方十丁餘ニアリ何ノ時ノ鎮座ト

云下舊記紛失シテ詳ナラス

社五尺四方雨覆二間ニ三間祭ハ八月十五日

石鳥居高廿七尺幅六尺

牛頭天王宮小社ナリ祭リハ三月十五日

神明社石ノ小社ナリ祭リナシ

稻荷社石ノ小社ナリ祭リナシ

愛宕社

社地東西二百間南北百間

別當幸福寺

村ヨリ南戌亥ノ方五丁餘ニアリ本地地蔵ヲ安置ス神體木俵ナリ立

像長ケ一尺祭リハ六月二十四日

寺院

幸福寺

境内東西四十八間南北八間

天台中三ツリテ愛宕山長壽院ト云慶長年中真海ト

云僧開基ト云傳フ舊記紛失シテ詳ナラス當城

下本町永蔵寺ノ末寺ナリ無住ニテ泉崎村來迎

院持ナリ

客殿庫裏共ニ一字新東西四間三尺南北九間本

尊不動明王木佛立像長々二尺雲慶ノ作如意輪
觀音木佛坐像長々七寸厨子入
勝軍地藏石佛立像長々四寸
人物

農夫

治右衛門

極テ貧農ナリケル母及姑ニヨク事フ
前年没ス
妻ノ兄弟貧困ニテ産業ヲ捨テ雇夫ト故テ姑一
人アリテ薪火ノ勞ヲタスケル者ナリ故テ治右
衛門コレヲ迎ヘテ次右衛門貧窮ナリ母常ニ
抱スルニ仍テナリ故其形勢ヲ見セスニテ母ノ心
ヲカク歎キケル

ヲ母カテシメニ事ヲ思イケル祁寒ノヨリハ
ソカニ已レカ衣服ヲ脱テ母ニ着セ炎暑ニアタ
ワテハ扇ヲ持テ卧床ヲ涼シメ飲食ノ度毎ニ先
嘗テ後母ニ與フ或ハ市ニ出テハ帰ル毎ニ魚鳥
菓實ノ類懷袖ニシ又ハ苞苴ニシ來テ母ノ心ヲ
慰ム其性酒ヲ嗜ム常ニ賄テ是ヲアタフ七年前
ヨリ病ニ罹ツテ四支不仁起居自由ナラス農隙
ニ小傍ラニ在テ雜話ヲナシ微笑シテ日ヲ消ス
ルト多カリケル或ハ郊外ニ遊ハン事ヲ欲スル
トキハ負フテ其所ニ至リ其心ニ應シケル姑ハ

モ能ク仕へ家族睦ニカリケレハ一村其志ノ厚
キヲ感シ村長夕ラニ事ヲ勸メケレ氏孝養ノ闕
ニ下ヲ恐レ固ク辞シテ應セサリレク連年ノ勸
ムニヨツテ組頭トナル里民モ其教ヲ守ツテ争
論モナカリケル是屆賞年テ褒錢若干与来ニ與
ヲ寶曆七年七月二十日十日ナリ
農夫
與市
凡忠右衛門下居ヲ別テ共ニ農業ヲ励ミケル然ル
ニ忠右衛門病者トナリ家内ノ扶助モヨハサ

リケレハ老母ヲ巳口宅へ迎へ取孝養ヲナシケ
ル朝ニ山野へ出ル毎ニ方ヲ告夕^{字入ルハカラス}ニ帰ツテ耘
耜一日^ラ勞^{ハス}或ハ山花林鳥ノ説ヲ解テ徒然ヲナク
サノ隻ハ涼地ヲエラニテ母ヲ卧サシメ冬ハ衣
ヲ焅メテ夜寒ヲ凌キ精心怠ラス仕へケル兄忠
右衛門病者ニテ農事モ懈リケレハ餘カヲ計ツ
テ是ヲ助ケ租税モ闕事ナカリケル去ル戌年馬
代金ヲ願ヒ馬一疋ヲ求メケル重荷ノヲリハ自
ラ分ケテ負ヒイタハリケル工へ隣村共其篤實
ヲ稱シケル是任賞年テ褒錢若干与来ニ與

化元年六月十八日

免除地

幸福寺

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

石川郡泉庄美女氏御

矢吹村

當城ヨリ丑寅ノ方行程四里ニ

朝臣奥列ノ凶徒ヲ平ラケ帰陳ノヲリハ幡ノ義家

夫吹ト名古ハノ民戸所ニ散列シテ居住セ

日天正六寅年此地ハ麓居ス村長廿南北五丁十

四間戸數六十七軒兩側ニ連ル奥羽街道驛場ニ

テ毎月朔日ヨリ十日ニテ上リハ高田領踏瀬駅

ハ送ル下リハ笠石駅ハ送ル村西ノ端ニ會津ハ

川街道下リ西ハ柿ノ内村ハ二十四丁地境新城

川ニテ十四丁餘東ハ高田領須乘村ハ一里南ハ
中畑新田村ハ八丁地堺ニテ四丁北ハ久来石村
ハ二十三丁地堺ニテ十三丁三間高田領御所
高北場一ヶ所ニ村中ニ下リ、其江御所御所
官ヨリ令セラレ、所ノ掟條目ヲ掲ク、此下十

山川

今一文字アゲテ並ノ色ノ
三ツ石

村ヨリ北ノ方十三丁餘ニ下リ白川郡石川郡岩
瀬郡三郡ノ大堺ナリ地ノ字ヲ三ツ石ト云石ハ十ニ

井堰

陳場池 下ノ方ハ東西十二間南北十三間

村ヨリ十丁餘西ノ方ニ下リ東西六十間南北十
間五反三畝ノ養水トナリ

桺池

村ヨリ四丁餘西ノ方ニ下リ東西五十間南北三
十間二丁二反五畝ノ養水トナリ

下池

桺池ノ下ニ下リ東西四十間南北三十二間二丁
四反八畝ノ養水トナリ

延明作池

東西十八間南北十

村ヨリ五丁餘西ノ方ニアリ東西十八間南北七
間三反五畝ノ養水トナリ

館ノ池

村ヨリ五丁餘西ノ方ニアリ東西百二十間南北
十八間三丁六反五畝ノ養水トナリ

松ノ木坂池

村ヨリ六丁餘西ノ方ニアリ東西二百十間南北
三十五間七丁二反ノ養水トナリ

小池

松ノ木坂池ノ並ニアリ東西十二間南北十三間

六反五畝ノ養水トナリ

秣場

東原ノ東ノ方十丁餘ニアリ廣野ニテ丁歩ニレ

又

神社

八幡社宮地東北西三間十社家人小林要人

村ヨリ西ノ方一丁餘ニアリ小社十リ雨覆東西
二間南北六間境内枚雜木多シ祭リハ八月十五

日

拜殿 東西二間南北五間
牛頭天王社 小社十ヶ所 祭りハ六月十五日
靈宮社 小社十ヶ所 祭りハ九月九日右。西
三社共ニ村ノ鎮守ナリ
石鳥居 二基高廿共ニ八尺幅七尺
瀧八幡社 社地東北西三間 別當大福寺
村ヨリ西ノ方十四丁五間ニアリ 小社十ヶ所 康平
年中八幡太郎義家朝臣奥州ノ賊徒征伐凱陳ノ
ヲリ建立アリテ社ノ屋根ヲ箭柄ニテ葺タリト
云傳フ西ハ歌テハ巖アリ 壁立三丈餘石ニ三

十三観音ノ彫刻アリ 半服ニ幅五六分長十五尺
ハカリ裂タル所アリコノ坑ニ雌雄ノ靈蛇棲メ
リ時トシテ隱見ス里人コレヲ神體ト云 朔望ニ
詣ス **見ル** アレハ凜乎トシテ恐怖ス
ト云又南ノ方ニ小流通又馬尾瀧ト唱フ古蹟ノ
部ニ **詳** 故ニ馬尾八幡氏稱ス祭リハ八月十
五日
石鳥居 高廿六尺幅五尺
二鳥居 高廿六尺幅五尺
愛宕社 社地方 別當大福寺

村ヨリ^{本地地藏ヲ納ム}亥ノ方六丁二十五間ニアリ石ノ小社ナ
リ神體石佛ヲ立像長ケ一尺祭リハ六月二十四

石鳥居 高廿六尺幅五尺

寺院

大福寺 境内東西二十間南北五十間

真言宗ニテ八幡山正明院ト云享保年中回祿ノ

爲ニ縁記焼七ニテ詳ナラス高田領小田川村寶

積院ノ末寺ナリ

客殿 東西六間南北七間三尺本尊大日如來木

佛坐像長ケ一尺厨子入作詳ナラス

庫裏 東西六間南北二間三尺

鐘樓 仮屋ニテ九尺四方

金佛阿彌陀如來 長ケ二尺八寸坐像門前ニアリ

金佛地藏菩薩 長ケ二尺八寸坐像門前ニアリ

古蹟

馬尾瀧

村ヨリ西ノ方十四丁餘瀧八幡南ノ方ニ細キ流
アリ馬ノ尾ノコトク流レヲワル工ヘ名ツク今

八埋リテ僅ニ泉ノコレリ傍ノ岩ニ辨慶ノ足跡
又馬ノ蹄ノ跡ト名ワクル三ツノ跡アリ
屋敷跡

東ノ方村中ニアリ高廿二間餘頂キ平地ニテ東
西三十間南北四十間往古白川ノ城主本田能登
守別荘アリシ取ナハ斯唱来リトナリ存ス聖徳太子ノ小龕アリ
太子ノ像木ニテ立像長ケ一尺縁日ハ四月四日
別當大福寺

館跡
村ヨリ西ノ方八丁餘ニアリ高廿十二丈餘方二

十間ノ平地ナリ袖ヶ城ト云館アリ往古矢吹十
兵衛居住ス今荒凌ノ地ナリ矢吹十兵衛ハ石川
昭光ト共ニ仙臺へ屬スト云

村中西側ニアリ東西五十間南北八間行人屋敷
清淨院ノ跡ナリ今ハ農家ノ圃トナリ
舊家
會田宗危衛門
先祖佐久間鞞負天文年中頃矢吹中森ト云所

二居住ス永禄年中小野仁井町會田遠江守男源
藤太ノ養子トナリ故ニ姓ヲ會田ト改メ又野武
士ト成テ中森ニ再住ス石川昭光代會田宗左衛
門ヲ吹村ノ庄屋トス寛永年中新田岡發ノ切
ニヨツテ二男太郎左衛門矢吹新田村ノ庄屋ト
ナリ宗左衛門ハ代々本陳十疋本間行全武親

家寶

一鎗長サ一尺先祖佐久
間鞆負ヨリ傳來

人物

角右衛門
組頭

角右衛門
父母へ積年ノ孝養怠ラザル由聞ナルニ因テ實
曆元年褒美ヲ與ヘケルニ其ヨリ父母共ニ老テ
病ニ罹リ自由ナラサリケレハ夜ハ父母ノ傍ニ
テテ起居ヲイタハリ兩便モシケテ夕遺尿ノ下
モアリテ夜不收モ多カリケリ昏ハ農事ノ暇ヲ
計ワテ父母ヲ慰メ何事モ意ニ悖ルナク少々篤行
ナリケレハ隣村々テモ口ニシテ止ニス自ラ教
ニモナリケル工入同シク三年四月十五日再ニ
賞ニテ持高租稅ノ半ヲ減シ褒賞ニ與ヘ終身半

高ヲ以テ貢ス其上青錢十貫文ヲ下ニ與フ
勝蔵ハ十四歳松五郎ハ十二歳ナリケル幼稚ニ
テ父母ヲウシテ孤子トナリ祖父平右衛門病
者ニテ有ケルヲ養ヒ衣食ノ為メニ驛馬ヲ求メ
往來運送ニテ僅ノ價ヒヨ以テ扶助シケル晨明
ニ山野ニ出日毎ニ秣ヲ蒞兄弟ニテ精カク尽シ
ケルカ松五郎ハ幼年ニテ倦ワカレケルハ秣ヲ

中ニ抱キ乘テ歸ル事多カリケル夕ニハ馬ハ皆
草履ヲ造リ兄弟燒火ノ元ニ有テ夜ヲフカシ衣
食ノ為ナレハ氷雪暴雨モサケス馱馬ノ往來ヲ
ナシケルニ勝蔵矮人ナリケルハ馬ノ脊ヘ荷物
ヲ揚ルト届カザリケルニ隣人は之ヲ憐レニ共ニ
夕スケテ荷物ヲ附ヲクリケル旅人モ菓モノ餅
ノ類ヒヨ興フル者多シ勝蔵元赤子ヨリ養子ニ
テ實ノ父母ハ宿中ニ旅屋ヲ業トシテ有シユヘ
勝蔵口孤貧ナルヲアハレニ食物ヲ與フレハ其
一、懐ニシテ祖父平右衛門へ進ムル事多カリ

今ハ勝蔵人ニ語りテ云赤子ヨリ養ハレテ貧困
ノ中ニ人トナリ養ヒ父母ハ一日モ勤メ行フ事
ナク早ク喪ヒ便リナキ老人ニ養ヒテハ食ヲ甘
ニスル事モナク独リ足ル事ヲスヘキ謂ナシト
テ實家ヘモ多クハ立寄ラサリケレハ聞人モ哀
レニモ感シケルトソ暇ノ日ハ兄弟嬉戯シテ土
偶人ノタクニ弄ヒ祖父平右門ト共ニ興シ寒
夜ニハ衣服モ薄ク軒ハ間ハラニ壁ハ破レケル
ニ、炬ノ端一ツ所ニ圓ヒレテ抱キ合テ寐ケル
平右衛門窮途ノスキハ口ナカラニ見ノ為メニ

憂ヲ忘レ餘念ナク老ヲ養ヒ是ニ勝レル樂ニ
ハ亦アラシト人ニモ語りケル其間ヘモ大方ナ
ラサリケレハ昆弟元共子賞見テ青錢若弟ヲ平
ニ與フ文化冠華去月十八日興ナリ

庄屋

笹山久左衛門

伯母

多津

九十三ニシテ養老扶持ヲ與ヘ且尚齒ノ宴會ニ預
ラレメ以テ年壽ノ高ヲ賞ス寛政十年正月二十

一日時三九十二時
其下免除地下今又悉林七畝以五倍滿對宴會三時

大福寺少夜七便十人老人也本寺也多食多新

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

石川郡泉庄美女氏郷

本郷舊矢吹新田村南門ノ...

當城ヨリ丑寅ノ方行程四里矢吹村家續キ丹羽

五郎左衛門長重代寛永十酉年新田開發シテ一

村ト十其故ハ舊家勘左衛門ノ部條ニ詳レハ合見十川村長廿南

北一丁戸數十軒兩側ニ連ル東西南北ノ地塚及

秣場ハ本郷矢吹村ニ同シ

井堰

大池

村ヨリ東ノ方十五丁餘ニアリ東西百八十間南

北二百五十間

小池

村ヨリ八丁東ノ方ニアリ東西七十間南北百間

餘畝ハ本郷ニ如ク同

壇

一里塚

村ヨリ北ノ方三十間ニテ街道ノ東西ニアリ

高十六尺周四十五間

舊家

農夫

勘左衛門

本郷矢吹村會田惣左衛門ノ分家寛永十酉年丹

羽五郎左衛門長重代新田高八十五石餘開發

其後貞享元禄寶永年中三ヶ度ニ高十六石餘開

發新田高合百二石餘墾蓄ノ功ニヨリテ會田惣

左衛門二男太郎左衛門右地所ノ庄屋トナル

窮ニ泥テ是ヲ辭シ今勘左衛門農夫ナリ

古物

矢吹村新田ニ掟

一田白古之上中下惣百

北二百姓云甲乙刻府仕開

二戶作自前之入

事隈御之山野無相

遠入可戸事

一戸田と相捨新田出

同交事

一新田之諸没所用

捨之事

右之條々可相守者也

治本九節

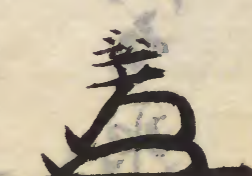
寛永十年霜月朔日

奉

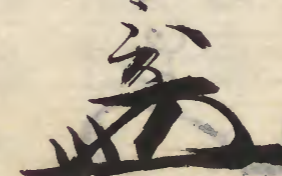
丹羽之店云

丹羽之店云

大石志麻呂



浅尾教馬



舟羽伊豆



知良

宗良

去領新田

二男

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

岩瀬郡児渡庄廣渡郷
久來石村
當城ヨリ丑ノ方行程四里二十三丁
ハ小栗山ノ邊ニ民家アリ之口慶長年中此地へ
移テ奥羽街道ノ驛トナル村中高札場ヨリ南
ヲ上分ト云北ヲ下分ト云鎮守西社ナリ毎月廿
日ヨリ晦日ニテ登リハ高田領大和久村へ下リ
ハ須加川驛へ継送ル村長廿東西三丁五十五間
戸數六十軒西側ニ連ル東ハ成田村へ一里十八
下地堺ハ笠石村ノ地笹原横山ト云所ニテ二丁

大谷志摩子
二丁
成虎
子羽伊豆

餘西小柿ノ内村ハ二十四丁新城川ノ堺トス
八丁南ハ矢吹村ハ廿三丁地堺ニテ十丁五十七
間北ハ笠石村ハ十三丁地堺ニテ五丁三十間開
高札場一ヶ所 村中ニアリ
官ヨリ令セラル、所ノ旋條目ヲ **掲**ク
井堰
荻ノ窪池
村ヨリ七丁十間南ノ方ニアリ街道西ノ傍ナリ
東西百間南北三十間田所十九丁餘ノ養水ト成

村ヨリ戌亥ノ方五丁餘ニテ方百間田所五丁
餘ノ養水トナル
深沢池
村ヨリ十丁餘西ノ方ニアリ東西七十間南北五
十間田所三丁餘ノ養水トナル
多羅坊池
村ヨリ十丁餘西ノ方ニアリ東西七十間南北四
十間田所八丁餘ノ養水トナル
堰
村ヨリ戌亥ノ方十八丁餘ニテ方少堰長サ南北百

間東西七間新城川ヲセキ上ヶ七下八反五畝ノ
養水トナリ

神

近津大明神社地ニ計西ノ別當高福寺

村ヨリ六丁餘西ノ方ニアリ何レノ時ノ鎮座ト

云ノ舊記紛失ニテ詳ナラス社五尺竊守木欄際

社分三鏡四方勾欄附祭ト木丹月朔日社鎮

拜殿 東西二間南北四間三尺街道西ノ傍

石鳥居 高廿八尺幅六尺社十九丁餘ノ養水ト成

高月大明神社地ニ計西ノ別當高福寺

村ヨリ三丁餘成ノ方ニアリ養老年中高月左大
辨任國ニテ此地ニ來ル其神靈ヲ祭ルト云神體
鳥帽子狩衣立像長ケ一尺高月五尺大辨詳實校考

元正帝養老二年五月割白川石背會津寺積信夫五
郡置石背國割常陸多阿郡二百一十烟名曰菊多

舊記紛失ニテ詳ナラス社モ衰廢シテ名ノ三殘

今儿口正徳年中再興ス社五尺鎮守ト養老

社リ奈尺四方祭六日十九日下鎮

拜殿 二間ニ二間三尺

石鳥居 高廿八尺幅六尺

愛宕社 社地東北五十五間 別當高福寺

村ヨリ五丁十五間西ノ方ニアリ石ノ小社ナリ

神體石佛本地藏納山ノ坐像長ケ一尺ニ寸祭リハ六月二十

四日

石鳥居 高サ七尺幅五尺

愛宕社 社地四方 別當高福寺

村ヨリ三丁餘北ノ方ニアリ石ノ小社ナリ神體本地前同

石佛ノ坐像長ケ一尺祭リハ六月二十四日

石鳥居 高サ八尺幅六尺

佛場

小栗山觀世音堂間境四方九十 別當高福寺

村ヨリ十九丁乾ノ方ニアリ山人高サ六丈周回

四丁餘堂三間四方巖上ニタテリ本尊十一面觀

世音木佛坐像長ケ一寸八分厨子入行基ノ作岩

洞ニ安置又養老年中高月左大辨ノ身本尊ヲ勸

請スト云此觀下ニアリ仙道三十番ノ札所ナリ歌ニ

歌ニ 嘆 栗山

さきろてあまのたのしみやま

のりのいりり人やらん

コノ歌ヲ仙道順礼ノウタヒモ人トス南ノ方ハ

此ヤハリカキ下
ニ片カサシテ
一行切ニカキ下

断岩聳へ北ノ方ハ一丁ホト隔テ新城川灌ク保
土原村柿ノ内村山水ノ眺望目下ニ下リ堂前ニ
胎内タリトテ第ニ夕ル岩アリ北ノ方一丈ホ
ト下ニ回リニ丈高廿六尺餘ノ石ニツ左右ニ十
ラヒアリニ王石ト唱フ西ノ方山ノ半版ニ泉有
シヲ神池ト云ヒシ今ハ水出ラズ縁日ハ七
月九日又正月七日隣村ノ男女群集シテ豊饒ヲ
イノル年々三四月ノ口苗代ヲ占メテハ報
賽ノ夕メニ餅焼米ヲ供フ故ニ三度ハニツ信ト
云

車野里人云高月左丸辨寺本尊十一面觀世音靈

音木顯他ニ異ナルニ因テ保土原江南齋フコク

歸依シテ守本尊トシテ信仰セシト

庵室 四間ニ二間三尺

鐘樓 仮屋二間ニ三間

虚空蔵二境内 四方

村ヨリ六丁十五間西ノ方ニ下リ堂二間四方木

佛立像長ク一尺厨子入作詳テラス縁日二月十

三日

寺院

上ノ中ノ人ルニ

○此觀音ハ

靈

フコク

△注ニ

江南齋

ハ

ト

ナリ

川

ノ

層

ニ

居

ル

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

高福寺境内方 村中三ツリ
 天台宗ニテ小栗山ト云人皇四十四代
 元正天皇ノ御宇養老年中高月左大辨任國ノヲ
 弁海ト云僧ニ歸依シテ建立スト云傳フ舊記紛
 失シテ詳ナラス中古衰廢シテ僅ニ寺跡ノ三有
 ケルニ天正年中尊順ト云僧再興シテ須加川町
 千用寺ノ末寺トナル
 客殿 東西五間南北六間三尺本尊十一面觀世
 音木佛坐像長ク一尺二寸作詳ナラス
 庫裡 東西六間三尺南北三間

古蹟

平太碑

村北端東裏山ニアリ石碑高サ三尺五寸幅二尺
 厚サ七寸西向平太碑ト云傳フ文字ハカラス△

△ 葉スルニ和田一川在柄平太胤長ヲ奥列岩瀬
 郡ニ配流又其後赤東鑑ニ謀賄ヘト夕リ溝口辰蔵履分
 箱村ト云所ニモ平太胤長ノ古蹟アリ行程ワツカニ
 一里餘イワレカ真跡詳ナカス碑ニ傳フルコト
 以テ載ス○ツリ

□ カタハラニ古木ノ櫻アリ墳墓ノ印ト云里人病
 アレハ此所ニ詣テ洒掃セニ一ツ祈誓願ニ病ヲ
 治スルイアリト云傳

寺跡

村中ニ下リ東西三十間南北十五間寶性寺トイ

石ハ心精舎ノ跡ナリト云來歴ハ詳ナラス今ハ畑

トナリ

人物

農夫

弥右衛門

弥右衛門ハ幼弱ニシテ父ヲ喪ヒ其後母モ眼ヲ

憂ヒ竟ニ瞽女トナリ且夕是ニ仕ヘテ孝養急ラ

ズ飲食モ好ミニ應シテア夕ヘケル母元ヨリ相

思草ヲコノミケルカ盲人ナリケレハ過テアラ

ニ下テ恐レテ側ヲハナシ又山野ニ出ルコトニ

必ラス方ヲ告ケテ期ニヲクレス帰ル莫ク夜ハ

幅モナカリケレハ終夜煙ヲ立テ蚊ヲ防キ冬ハ

已シカ衣ヲ薄フシテ母ノ服ヲニシ寐所ニ苦ヲ

シキテ卧サシメ孝養懈無シカケルナリニヤ

送窮ノ術モ尽テ村中弥治右衛門ト云者ノ僕ト

ナリ其ア夕ニシテ以テ母ヲヤシナリケル其真實

ノ孝養聞フルニ昔ヨク安永三年六月三日ナリ

ノ孝養聞フルニ昔ヨク安永三年六月三日ナリ

農夫

藤藏

初秋租税ニ先達テ初穂ノ新米ヲ納度ヨシテ願
フ其志願ヲ尋ルニ去卯年未曾有ノ凶年ニテ飢
民許多ナリケルニ廳ヨリ令ニテ米穀雜物ノ類
ヲ與ヘ危難ノ救ヒ渴奠斗弁ノ水ヲ得テ身命ヲ
繋キケル藤藏モ其困民ノ中ナリケルカ當秋ニ
ナリテ田作モ相應ニシテナリケル全ク國恩ヲ報
シ夕キ心願ニテ早苗ヲ藝附初穂ヲ以テ貢スル
由ヲ云飢民ハ一統ノ事ナリニ聊カ國恩ヲムク

ヒ夕キ厚志ノ旨ナリ之ヲ賞ニテ天明四辰年普銭ヲ與フ

免除地 下ケテ

小栗山觀音 高福寺

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

石川郡泉庄雪見御
 南北林叢笠石村
 當城ヨリ丑ノ方行程五里小名森宿戸數二十六
 軒小名行方野戸數十九軒小名細名戸數十二軒
 小名笠石新田戸數十軒惣名ヲ笠石村ト云戸數
 都合六十七軒△合創二軒ヲ列ス南北四丁七間此村往古ハ
 十丁餘東ノ方四ヶ村ニテ別所有シク慶長年
 中ノ頃コノ地ハウツシテ一村トナルガレ凡古
 名十ヲ存ス西ハ一圓ニ岩瀬郡此村東ヨリ綿連
 江テ石川郡十リ奥羽街道ノ驛場ニテ登リハ須

初秋組織ニ先達ヲ初穂ノ新米ヲ祇度ヲ
 其志熱ク身ハ以テ古御年未嘗有ル由年ニテ
 民計多事ナリ生ハ三時ヨリ合テテ米穀雜物ノ
 其ノ危難ニ故ニ湯羹ヲ兼メ水ヲ得テ身命ヲ
 中葉山縣赤坂ニ高蘇末ノ中十リ生ハ高蘇末
 其ノ心熱ク早苗ヲ熟時初穂ヲ以テ食スル
 口又其氣味ニ貴純ニ或則四ノ神其氣味ニ

賀川ヨリ入定継十リ下リハ朔日ヨリ二十日ニ
テ須賀川驛ニ送ル東ハ成田村ハ一里地堺ハ芥
鋪清水ト云所ニテ二十丁餘西ハ保土原村ハ三
十丁地堺沓掛ト云所ニテ八丁餘南ハ久來石村
ハ十三丁地堺ニテ七丁三十間北ハ鏡泊村ハ二
十八丁餘地堺ニテ十丁二十五間ニテ
高札場一ヶ所村中ニテ
官ヨリ令セラルル所ハ掟條目ヲ及ブ夕ニ十六

井堰

蓮池

村ヨリ南ノ方久來石村ノ北端ニテヨリ東西百間
南北八十間田所五丁餘ノ養水トナル行方野ノ
地分十リ

蓮池

村ヨリ十三丁東ノ方ニテヨリ南北五十間東西百
七間田所十三丁餘ノ養水トナル森宿ノ地分十

二池

村ヨリ八丁餘東ノ方ニテヨリ東西四十間南北七
十間田所五丁餘ノ養水トナル細谷ノ地分十リ

千間田内梨子ノ木池
村ヨリ八丁餘丑寅ノ方三丁リ東西百間南北六
十五間田所七丁餘ノ養水十丁餘石新田ノ地
分十リ
秣場
廣野
村ヨリ十丁餘東ノ方三丁リ南北三十丁東西十
丁餘秣場
神社
熊野三社權現
別當寶泉院

高廿九尺幅六尺
村ヨリ十丁四十間東ノ方三丁リ秣社尺四寸
雨覆五間二間森宿笠石新田ノ鎮守十丁祭リ
八月九月
石鳥居 高廿八尺幅六尺
土井明神社
別當寶泉院
村ヨリ午ノ方六丁十一間街道ノ東五十步ニ
テ社ヲ方雨覆雨覆間四間行方野鎮守十丁祭
石鳥居 佛場
八月九月五日
八尺幅六尺

聖德太子堂

境内南北西百二

別當寶泉院

村東裏一ノ下カカリニアリ堂二間三二間三尺南

向本尊木佛立像作レ長ク一尺厨子入何レ

時勸請スト云下縁記紛失レテ詳ナラス

俚語云往ニ所用アテテ前當村忠右衛門ト云者

有年所ニテ行クニ是レ荒居タリ何地

古クシテ老姫ニテシテ直リテ餅ヲアタヘテ何カ

降シテ救ノ夕思レ神レ信レ心レ他レ異レ十レリト云

縁日二月廿二日八月廿二日細告ノ鎮守ナリト

云

鳥居高廿九尺幅六尺

寺院

寶泉院境内東西八十

村西側ニアリ天台宗ニテ廣石山長命寺ト云建

武二年比叡山圓觀僧都開基ト云舊記紛失レテ

詳ナラス

案スルニ圓觀僧都ハ北條相模守高時ヲ呪

入道宗廣ニ預ケ人トナシテ禁錮セテ結城上野

カ高時滅セテ宗廣封内ノウリテニテ武ノ隣村

ナリト云

○山名ナリ

。須賀川町千用寺末寺ナリ

容殿庫裡共ニ一宇 東西六間南北三間本尊藥

師如來木佛坐像長ケ一尺作詳ナラズ

藥師堂 方九尺石佛高サ一尺八寸厨子入縁日

四月七日

大日碑 高サ六尺幅四尺古往細苦ノ東作場道

ノ橋トナリテ人ニシレヌ埋レ有レバ農人馬ニ乘

リテ此橋ヲ過シハ果シテ落馬ス里人コヒテ怪

異トス寶泉院宗海代土ヲ穿ツテ橋ヲ見ルニ大

日ノ梵字五點具足阿ノ字有ケレハ諸人恐怖シ

テ寺中ニ納メ大日ノ碑ト云

古蹟

石川館

村ヨリ十一丁南ノ方ニアリ高サ三丈六尺回り

一丁餘館主詳ナラズ

高屋鋪館

村ヨリ十五丁東ノ方ニアリ高サ三丈回り一丁

餘館主詳ナラズ

高野館

村ヨリ二十丁東ノ方ニアリ高サ三丈回り一丁

餘館主詳ナラス

佐藤清水

村ヨリ南ノ方六丁十一間街道ノ北畑中ニアリ

佐藤庄司此地ヲ過リシトキ工ノ泉ヲ掬シテ渴

ヲ凌キケル工ノ名アリト云

笠石碑

村ヨリ七丁二十五間北ノ方街道西ノ傍ニアリ

高廿四尺幅方一尺三寸文字漫滅ノ見ハ里人コレヲ笠地蔵ト云

笠石ノ村名コレニヨルル口碑ニ傳フ一説ニ和

田ノ碑ト云其來歴詳ナラス

^{梅ルミ}和

田ノ一川在柄平太風長奥州岩瀬郡へ配流

田ノ隣郡ナレハコレハ若クテ風長横成

後此碑ヲ建タルニヤ詳ナラス

行方野原

村ノ東ウラニアリ方二十丁許草莽ノ地ナリ天

喜年中源賴義朝臣奥州賊徒阿部貞任宗任兄弟

追討ノ為下向アリ先陳高橋大藏太夫五百餘騎

白川ノ關ヲ越ヘテ行方野原ニ馳付貞任ハ厨谷

川ノ城ヲ出テアワカシ工ノ中山ヲ後ニテ安

達郡ニ木戸ヲ建自ラ行方野原ニ來ワテ源氏ヲ

待ツコノ所ニテ高橋大藏大夫ト行合ヒ初度ノ
合戦アリ太藏大夫猛威ヲ震クテ貞任ヲ安積ニ
沼ヘ追退ク其者次奥州物語ニ載ル物也
舊家此地ヲ遺夫高橋大藏大夫貞任ノ
喜連中郎將貞任ノ奥州御所庄屋貞任ノ
林ノ東ノ邊ニ在リ
石川ノ城主石川安藝守有光ノ舊臣小貫作之進
ノ末流也石川家没落以後嫡孫作之進ハ仙臺角
田石川家ニ奉仕スニ男源左衛門此地ニ住ス慶
長年中庄屋トナル寶曆年中一村ノ教示好ヲ賞

シテ米錢若干ヲ下シ興フ喜左衛門名代トス家已レ
カ有トセス村中貧困ノ者ハ分午ノ夕ヘ衆ト共
ニ恩澤ニ浴セシム行方野ハ口ケテ貧民多カリ
ケルニ喜左衛門是ヲ撫育シテ足ラサレヲ補ヒ
能ク糶カ^{精カ}ラテ尽シテ租税モ急ラサレハ是ヲ
再ヒ賞シテ青錢若干ヲ下シ興フ寶曆十三年十
一月十五日ナリ

免除地 下ケテ
寶泉院

岩瀬郡牛袋庄川中郷
 四十間 鏡沼村 並端 深内 兼本川
 當城ヨリ且八方行程五里二拍八丁往古心西川
 新城川筋ニ散居シ夕リケル刀寛永年中此地へ
 付ヨリ村長廿東側二百九間西側二百五十九間
 戸數六十七軒奥羽街道ニテ間ノ村十リ笠石村
 地堺ヨリ須賀川町地堺ニテ二十七丁二十二間
 工ノ間街道ヨリ西ノ方鏡沼村地分十リ東ノ方
 八高久田村地分十リ東八高田領前田川村へ一
 里地堺ハ居屋鋪裏高久田村ノ地十リ西ハ端村

岩瀬郡牛袋庄川中郷
 四十間 鏡沼村 並端 深内 兼本川
 當城ヨリ且八方行程五里二拍八丁往古心西川
 新城川筋ニ散居シ夕リケル刀寛永年中此地へ
 付ヨリ村長廿東側二百九間西側二百五十九間
 戸數六十七軒奥羽街道ニテ間ノ村十リ笠石村
 地堺ヨリ須賀川町地堺ニテ二十七丁二十二間
 工ノ間街道ヨリ西ノ方鏡沼村地分十リ東ノ方
 八高久田村地分十リ東八高田領前田川村へ一
 里地堺ハ居屋鋪裏高久田村ノ地十リ西ハ端村

深内へ十五丁十五間地堺林は南八笠石村
十八丁地堺は元十七丁五間北は高久田村
家ツ同様に西へ古殿は林は北へ東へ六
高札場一分所は村中あり二十丁二十二間
官より令せらるる所は旋條目ヲ掲ぐり
井堰是れ東側二百五間西側二百五十五間
大池
村より西へ方三丁餘三丁上り東西百五十五間南北
四十八間田所十五丁餘ノ養水ト十丁
五斗蒔池 川中

村より牛末方八丁餘三丁上り東西六十間南北
十六間田所六丁餘ノ養水ト十丁

不時沼原
村より十一丁餘末申ノ方三丁上り方九丁

聖人壇
村より七丁餘北ノ方三丁上り方八丁餘

神社
正八幡社
間社南北十五間

別當西光寺
社人板倉若狭

村中ヨリ二丁餘西ノ方ニアリ天喜五年源賴義
朝臣奥州下向ノキリ開基ト云傳才舊誌續失
テ詳ナシス程ノ西尺祭リ九月九日村ノ鎮守
社リ四尺四方祭リ九月九日村ノ鎮守十リ
拜殿 東西二間南北三間三尺
石鳥居 高廿九尺幅六尺
庭渡權現社社地五間四方 社人板倉若狭
村ヨリ戌亥ノ方三丁餘ニアリ小社十リ祭リ八
九月九日祭 東西別當西光寺

村ヨリ申ノ方五丁餘ニアリ小社十リ祭リ八六
月二十四日
石鳥居 高廿六尺幅五尺

寺院

西光寺 境内東西七十二間
打ノ西側ニアリ
真言宗ニテ若宮山無量院ト云

正親町院 御宇永祿年中須賀川ノ城主二階堂家ノ
屬臣鏡沼藤内菩提ノ夕メ建立スト云 捍衝村長
樂寺ノ末寺十リ
客殿 八間ニ五間本尊阿彌陀如來木佛坐像長

ク一尺五寸作詳十ヲス
庫裡 二間三尺ニ五間
觀音堂 二間四方内佛厨子入木佛立像作詳十
ヲス縁日四月十七日
十五堂 二間四方像長ク五寸木佛坐像縁日十

古蹟

村西十町許鏡沼
建曆年中荏柄平太胤長奥州岩瀬郡へ配流セラ
ル胤長刀書迢遠タル山川ヲ越へテ慕ヒキタリ

程千刀キ船村ト云所ニアリト聞悦ヒニ夕ヘス
肉モ飛ベキ思ヒヲナシケルコノ所ニテ鏡ヲ出
シ粧ヲ飾リ容ヲ刷ケルニ今ハハカナキ黄泉ノ
免トナリタリト告ル者アリケレハ世ニ便リナ
キトニ思ヒ鏡ヲ沼へ沈メ僕ニ身ヲ投ケ空ニク
ナレリト云往昔ハ鏡ノ光水底ニ粲爛タリシカ
今ハ名ノミ残ワテ片岸崩レ埋リテ僅ニ方四間
ハカリニ存セリ鏡沼ト云ル村名モコノ沼へ鏡
ヲシワメジヨリ唱へ来レル名ナリト口碑ニツ
タフ

右衛門郷土トナツテ相次ク

泉寶

刀長廿二尺二寸
九分 銘雲生

人物

常松治郎右衛門

鏡沼村仁井田村ノ庄屋ナリシカ村中貧者多ク

馬モ畜サリケレハ耕作ノ養ヒ及ハサレテ憂ヘ

テ馬金ヲ與ヘテ買シメ或ハ假貸ノ高利ヲ貸キ

其上仁井田村ノ農夫困窮ニ迫リ離散ノ跡ナリ

ケレハ農器種類ヲ與ヘ庄屋給田ノ米金モ年々

一村不時入用ニ備ヘテ再興セル切ヲ賞シテ褒

美ヲ與フ又國風ニテ出生ノ赤子一二人餘ハ乳

セサレ者多クシテ自ラ人少ニナリ田所荒廢ノ

地多カリケルウヘ婚ヲ求ムルニ金ヲ與ヘサレ

ハ處女ヲ得カタク窮民多クハ鰥ナリケルニ

越後ノ國ハ男女多ク他邦ヘ分離スル事許多ナ

レハ此地ヘイタリテ父母兄弟ニ託シ餘多ク處

女ヲ迎ヘ來リテ鰥夫ヘ嫁セシメケレハ土地ノ

風俗ヲウツシテ乳セサレノ憂モ少ク自ラ賑給

ノ基ナリケル工ノ再褒賞ヲ興フ寛政二年十月
二十八日 農夫ノ名ヲ云フ 農夫
少壯ヨリ農事ニ委ニテ産業怠ルナク十分齡八十
有餘ニシテ隱宅ヲ營ニ男子ニ業事ヲ譲リケレ
氏尚耘耔種培ノ事臨機タカフナリケレハ
舉家及一村共ニ考校ヲ稱シケル或夫役ホシ出
シハ自ラ勞ヲ勤テ母ヲ讓ルヤクニ教諭ニ儉ク
守リ信ヲ失ハス家族睦カキケルモ徳右衛門カ
ヨク示シ置タレ餘慶ナリケレハ其聞ヘ下リテ

青錢若年丑下之與ヲ天明四年五月十九日ナリ

農夫

長截祖母

波留

年九十ニシテ養老扶持ヲ興ヘ年九十一ニシテ
寛政十一年二月三日尚齒ノ宴會ニ及ニテ病ニ
罹ツテ出ルナク得ス依テ菓饌ヲ齋ニ興ヘテ其
年寿ノ高キヲ賞ス

免除地

西光寺 正八幡社

西端村
當城ヨリ且ノ方行程六里七丁ニアリ村長十東
西一丁二十間戸數七軒片側ニアリ東以本村鏡
沼村へ十五丁十五間地境十丁西ハ今泉領箱村
へ六丁餘地堺新城川へ二丁三十間南ハ仁井田
村へ十八丁餘往古同村十一丁所合六丁堺分明ナラス北ハ常列土
浦領牛袋村へ十八丁餘地堺ハ屋敷裏江泉館峯
ソ、キ堺十リ前ハ田所ニシテ背ハ山十リ秣場
ハ本村ニ同云

山川
新城川

村ハ西二丁三十間ニアリ今泉領箱村ト川堺十
川幅三十間ハ刀川流末ハ須賀川町釋迦堂川
十リ

神社
御靈宮社
社地東北西三十九
社人板倉若狭

村ハ西端ニアリ山ヲ牛乳山ト云高十五間餘面
リ二丁小社ナリ祭リハ九月九日
石鳥居高廿七尺幅六尺

古蹟高廿二尺六寸

乳石 一丈八寸五分

御靈宮境内 一丈八寸五分

幅三尺 乳石 一丈八寸五分

奇瑞 亦云 十五間地境

江泉館 城川 一丈八寸五分

村ノ北裏 一丈八寸五分

藤内ノ遺跡 一丈八寸五分

金山館 一丈八寸五分

村ヨリ 一丈八寸五分

十ヲス 荒涼ノ地 十リ

菅城ヨリ 北東ニ行 五里ニ至リ 八丁餘 往テ 古ノ...

岩瀬郡牛袋庄川中郷
高久田村

當城ヨリ丑ノ方行程五里二十八丁餘往古八十
三丁程東北字ハ高久田ト云所ニ散居シ夕リシ
カ元和年中ヨリ寛永年中ニテニ此所ニ聚居シ
テ戸數四十二軒兩側ニ連ル村長廿東側三丁十
八間西側二丁二十八間東ハ高田願前田川村ハ
一里地堺牛房池ト云所ニテ十五丁餘西ハ鏡沼
村端村深内ハ十五丁十五間地堺ハ居屋敷裏ヨ
リ鏡沼村地分ナリ南ハ鏡沼村家ヲ、キナリ北

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 江、鏡、沼、村]

八須賀川町へ二十五丁四十間餘地境一丁七丁
三十間西街道ノ東ノ高久田村ノ地分地分
一里井堰中ノ地分地分
八間西側一貫清水池間東ノ高田原田川
村ヨリ卯ノ方八丁餘ニ下リ東西百間南北二百
間一村過半ノ養水ト十儿流末須賀川町暮谷沢
夫ヨリ高田願中宿村琵琶ノ首池入儿
牛房池牛房池ノ地分
村ヨリ東ノ方十五丁餘ニ下リ東西五十間南北
百間餘田所四丁餘ノ養水ト十儿

秣場

牛池又平内ト云

村ヨリ卯ノ方七丁餘ニ下リ東西十二丁餘南北
十丁餘下ノ二ヶ所ヲ并セテ秣場ト云
古高久田往古ノ散居
村ヨリ丑寅ノ方十三丁餘ニ下リ方三丁餘
十三佛
村ヨリ丑寅ノ方六丁餘ニ下リ東西五丁南北三
丁餘

神社

鹿島社社地南北百九十間

別當覺寶院

村ヨリ寅卯ノ方十丁三十間ニアリ當村館主箭部紀伊守亮ノ立物ヲ神體トテ常陸國鹿嶋大神宮ノ神威ヲ移シテ武運ノ守護トス時元龜二年七月ト云往古箭部紀伊守ヨリ社頌トシテ三十石附置其頃ノ別當五大院ヨリ社地ノカタハラニ瀧本坊トテ坊舎アリシ刀須賀川城至二階堂家没落ノ後箭部紀伊守モ^{亡ク}其^所領^モ廢地トナシテヨリ社頌及坊舎モ^亦鳥有トナシ今僅^ニ存^ス夜四尺ナリ社間四及四面吳間西村ノ雨覆市ト稱リ鎮守

ナ祭リハ七月十日

石鳥居 高廿八尺幅六尺

牛頭天王社社地四方五間 別當覺寶院

村ヨリ卯ノ方八丁餘ニアリ石ノ小社ナリ祭リ

ハ六月十五日

石鳥居 高廿八尺幅六尺

愛宕社社地東西三十五間 別當高照寺

村ヨリ辰ノ方八丁餘ニアリ石ノ小社ナリ祭リ

ハ六月二十四日

辨天社社地四方二間

村ヨリ叩ノ方一丁十六間ニアリ石ノ小社ナリ
祭リハ八月七日

石鳥居高サ六尺幅五尺

佛場

中粟堂

村ヨリ十一丁二十四間南ノ方ニアリ村持ノ野

原ナリ往古ハ中粟堂錦木寺トテ仙道第十番ノ

札所ニテ千手觀音ノ堂宇アリシ乃天正年中兵

亂ニヨリテ廢亡セシヨリ今僅ニ石ノ小龕アリ

塗佛立像觀音長ケ一寸八分銅佛立像作詳十ヲ又覺寶院

アワカリ縁日三月十七日

寺院

高照寺

天台宗ニテ鹿島山ト云文祿元年須賀川町千用

寺秀算法弟本理坊秀元ト云僧闕基ト云元祿五

年回祿ノヲリ舊記焼亡シテ詳十ヲ又千用寺ノ

門徒ナリ

客殿庫裏共ニ一字東西五間南北三間本尊阿

彌陀如來木佛立像長ケ一尺五寸作詳十ヲ又

覺寶院境內東西五十二間

村中ニアリ

修驗宗ニテ鹿島山ト云往古中栗堂錦木寺千手
觀音徳一作別當ニテ五大院空淨ト云然ルニ天
正十七年城主矢部紀伊守滅亡ノキリ五大院空
淨戦灰スコレニ依テ中栗堂頽廢ス空淨子兵庫
業ヲワヒテ鹿島社ノ別當トナル同郡須賀川町
徳善院ノ末山ナリ
客殿 南北六間東西四間本尊不動明王木佛立
像長ク一尺四寸
庫裏 南北六間三尺東西四間
子安觀世音 堂宇破壊ニテ本尊ノ脇ニ安置ス

古蹟

館跡

村ヨリ寅卯ノ方十一丁餘ニアリ山高サ四丈餘
館主箭部紀伊守天正十七年滅亡ス今ハ農家ノ
畑トナル

方八丁

村ヨリ北ノ方二丁餘街道ノ東ニアリ小丘ナリ
天正十七年須賀川二階堂家伊達家ト合戦ノヲ
リ常州佐竹家ヨリ須賀川二階堂家ト加勢ノ陳
跡ト云傳フ今ハ畑トナル

鹿島社地ニアリ高廿九尺周回一丈八尺頂ニ方

一尺ノ石燈籠アリ一貫清水ノ下流ニノソナリ

工ノ石水神ヨリ鹿島ノ社へ供物ヲ入スル石ト

口碑ニ傳テ

舊家

矢吹唯助

曩祖矢吹村ノ館主矢吹重兵衛第薩摩天正年中

石川郡中村ニ居住ス嫡男丸馬高久田村ノ庄屋

ト十儿唯助ニテ十三代ナリ

組頭

與惣右衛門

高久田村ノ館主矢部紀伊守ノ家來味戸隼人ノ

子孫

農夫

市右衛門

高久田村ノ館主矢部紀伊守ノ家來込山左馬之

助ノ子孫

免除地

高久田村ノ館主矢部紀伊守ノ家來込山左馬之

高昭寺新撰愛宕社

鹿島社

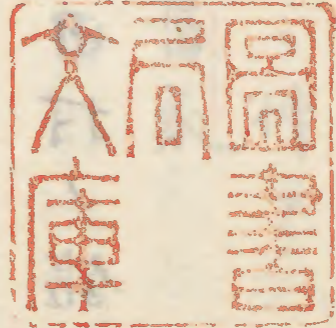
鹿島林檎... 高昭寺... 鹿島社... 高昭寺... 鹿島社...

高昭寺... 鹿島社... 高昭寺... 鹿島社...

高昭寺... 鹿島社... 高昭寺... 鹿島社...

高昭寺... 鹿島社... 高昭寺... 鹿島社...

高昭寺... 鹿島社... 高昭寺... 鹿島社...



高昭寺... 鹿島社... 高昭寺... 鹿島社... 高昭寺... 鹿島社...

